

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

エターナルプラスアカデミー福島小倉寺教室

令和2年3月実施

	チェック項目	どちらとも			改善目標、工夫している点など
		はい	いいえ	いいえ	
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	100%	—	—	・パーティションなどを使い、活動するエリアを分けわかりやすいように構造化。
	② 職員の配置数は適切であるか	100%	—	—	・定員に対して規定以上の職員を配置。個別対応も実施。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	16.7%	83.3%	—	・施設内は段差もなくバリアフリー化されているがトイレの入口扉が狭く車椅子は入れないため改善していきたい。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	—	—	・スタッフ同士の対話を大切に全員の意見を参考にしようという心がけている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	—	—	・保護者会では、必ずアンケートに協力いただいで参考にさせてもらっている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	—	—	・1 回目は事業所内に掲示。2 回目はホームページにて公表予定。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	—	—	100%	・第三者委員会を設置なし。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	—	—	・必要と思われる研修案内にはできる限り参加している。
適切	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	83.3%	16.7%	—	・モニタリング時期には、保護者さんとの面談を行い更にスタッフで担当者会議をおこないサービス計画を作成している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	—	—	・ヴァインランドⅡを使用。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	—	—	・活動プログラムの月間予定は、スタッフ全員で行い話し合っで決める。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	—	—	・運動療育については、「継続」を心がけているのでプログラムは固定してもないように変化を付けている。

な 支 援 の 提 供						・月金を SST やビジョントレーニングなどの活動を行い火水木に運動療育を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	-	-	・それぞれに応じて課題や活動などを設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	-	-	・今までは、「個別」というやり方がなかったが、「個別」の必要性があるお子さんが多いので、体制を変えて療育を進めている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	-	-	・毎日 30 分のミーティングを行って確認をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	-	-	・終業 30 分前には毎日その日の振り返りを全員参加で行っている。ミーティングノートを作成し共有に努めている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	-	-	・毎日の振り返りのミーティング内容を記録しスタッフ全員が見ることが出来る療育システム HUG の個人ごとのホルダーに入れている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	-	-	・それぞれのモニタリング時期に合わせて、定期的に担当者会議を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%	-	-	・教室自体が掲げているものは「運動特化」だが、運動だけでは習得不可能なことも多いので、週に 2 日間は社会性の専門分野を学べる機会を設定している。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	66.7%	33.3%	-	・主に児童発達管理責任者が参加しているが、今後は日頃の様子をよく見ているスタッフの参加も考えていきたい。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	-	-	・保護者と連携を取りながら行っている。また月終わりに学校で配布される「下校時刻表」の提出などをお願いしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	100%	-	・機会がなかったため主治医との連絡体制については不明。(ケースがない)
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ				・利用開始前に連携会議を行い情報共

連携関係機関や保護者との連携		も園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	-	-	有等に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	-	-	-	未だかかわる機会がなかった。(ケースがない)
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	83.3%	16.7%	-	・発達障害者支援センターや県で主催する研修に参加し学ぶ機会を持っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%	-	-	・普通学級や支援学級に通っているお子さんだけなので、特に機会を持たなくても学校生活で健常児と関わっている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	-	16.7%	83.3%	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83.3	16.7%	-	・療育システム HUG の「本日の様子」から、写真と文章にて保護者が見ることが出来る。また、お迎え時や送迎時にお話をしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	83.3%	16.7%	-	・個別にペアレントトレーニングのやり方などを伝えたり、関連書籍を準備し貸し出ししたりしている。
	保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	-	-
㉛		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	-	-	・随時、相談を受け解決策や対応策を共に模索し、支援方法の助言を行っている。
㉜		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	-	-	・今後、定期的に設定していきたい。
㉝		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	-	-	苦情解決の窓口を設けており、早急に対応し解決をしている。
㉞		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	50%	50%	-	・月ごとに活動カレンダーを掲示している。会報等は発行していなかったため今後、行っていきたい。

	㉞	個人情報に十分注意しているか	100%	-	-	・個人情報の持ち出しなどないように努めている。また、施設内の情報について口外禁止を雇用契約書にて定めている。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	-	-	・教室内を構造化し過ごしやすい空間にしたり、意志がうまく伝えられないお子さんや保護者さんには視覚的に分かり易くしている。
	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	-	-	100%	・今まで機会がなかった。
非常時の対応	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	-	-	・各種マニュアルについては、スタッフは必ず熟読しサインするようにしている。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	-	-	・毎月1回、非難訓練を行っている。
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	-	-	・県の虐待防止の研修をスタッフ全員が受けている。
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	-	-	・身体拘束についての説明は、利用契約時とその必要性があるときに保護者に伝えていた。サービス計画には記載していなかったので今後、記載していきたい。
	㊶	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	25%	75%	-	・医師の指示書、または保護者からの説明にて対応していた。
	㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	-	-	・ヒヤリハットのバインダーを作り閲覧したら確認印を押すようにスタッフ全員が共有できるようにしている。また、ミーティング時に共有している。

保護者向け 放課後等デイサービス評価表

エターナルプラスアカデミー福島小倉寺教室

2020.3. 回答率 83.8%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90.3%	9.7%	—	・教室が広々しているので十分に遊べると思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	64.5%	35.5%	—	・前はスタッフが少なくて不安だったが、今は大丈夫そうです。 ・適切かどうかわからない。 ・若いスタッフの方が多いので悩みや相談が出来ない。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	54.8%	45.2%	—	・段差はない感じです。 ・わからない。
適切 な 支 援 の 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	90.3%	9.7%	—	・子供の状態にあっている感じがします。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	83.9%	16.1%	—	・曜日によって違うと子供から聞いている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	29.0%	61.3%	9.7%	・わからない。 ・普通学級に行っているので大丈夫です。
保 護 者	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	96.8%	3.2%	—	・契約するときに聞きました。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	77.4%	19.4%	3.2%	・記録を毎回確認しています。 ・なかなか話す機会がない。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	83.9%	16.1%	—	・すぐに対応していただけてとても感謝しています。要望にも快く応じてもらっています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	64.5%	32.3%	3.2%	・参加しました。 ・どのくらいの頻度で行われるのか分からない。

への説明等	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	—	—	・すぐに対応がありました。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	96.8%	3.2%	—	・お迎えの時に話せる時間が少しだけありますが、物足りなく感じます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	93.5%	6.5%	—	・毎回、見えています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	100%	—	—	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	71.0%	29.0%	—	・特に説明されたことはなかったが、教室内に掲示されているのは見たことがある。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	58.1%	38.7%	3.2%	・記録を見てやっているのを知った。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	83.2%	9.7%	6.4%	・楽しみにして通っています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	77.4%	22.6%	—	・もっと利用日数を増やしたいが、定員がいっぱいと言われ残念に思う。 ・安心して預けられる。